

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

584

エイズ予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
	中事業		エイズ予防事業	

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦 488-5115
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	エイズの正しい知識の普及及びHIV感染症を早期発見・早期治療することにより、感染の予防及びまん延の防止を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・HIV抗体検査及び相談の実施 ・エイズやHIV感染症について、正しい知識の普及啓発を実施 			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV抗体検査及び相談（平日、夜間、休日即日検査） ・知識の普及啓発（高校等での出前講座やポスター配布、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等） ・教員・施設指導者を対象とした研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV抗体検査及び相談（平日、夜間、休日即日検査） ・知識の普及啓発（高校等での出前講座やチラシ配布、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等） ・教員・施設指導者を対象とした研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査（無料匿名）及び相談 ・高校等での出前講座、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等による知識の普及啓発、保護者等を対象とした研修会 ・公式ツイッターでのエイズミニ講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査（無料匿名）及び相談 ・広報誌や公式ツイッター等による知識の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査（無料匿名）及び相談 ・高校等での出前講座、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等による知識の普及啓発 ・教員・施設指導者を対象とした研修会 	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,557	2,435	2,511	2,547	2,489	2,428	2,492	0	2,492	0	
伸び率（%）	135%	0.8%	△1.8%	4.6%	△0.9%	△4.7%	0.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,541	6,461	6,554	8,712	10,471	11,920	11,840	0	0	0
	正規職員以外	0	137	333	48	0	81	0	0	0	0
	小計	6,541	6,598	6,887	8,760	10,471	12,001	11,840	0	0	0
国庫支出金	1,153	1,091	1,134	1,134	1,108	1,108	1,117	0	1,117	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源（税等）	1,402	1,344	1,375	1,413	1,381	1,320	1,375	0	1,375	0	
所要人数（人）	正規職員	0.82	0.81	0.82	1.09	1.30	1.48	1.47	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.06	0.14	0.03	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金1,619千円、手数料 269千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	種類	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
検査・相談の啓発の種類		種類	目標値					
			実績値	10	11			
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
受検者数（HIV抗体検査）		件	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	208	232	217		
			達成度(%)	69.3%	77.3%	72.3%	%	%
相談数		件	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	30	35	25		
			達成度(%)	30%	35%	25%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和元年8月から公式ツイッターでのエイズミニ講座の開始や大学生と意見交換を行うなど若者視点での啓発を実施した。ツイッターのフォロワー数が増加しており、一定の効果があったと考える。HIV検査、相談件数は減少しており、今年度も若年層へのHIVやエイズ予防について充実を図る。
見直し・改善内容	HIVやエイズに対する認識不足が挙げられるため、正しい知識の普及及び検査の積極的啓発を若年層を中心に実施する。新型コロナウイルス感染症の感染予防にも留意しながら実施する予定である。